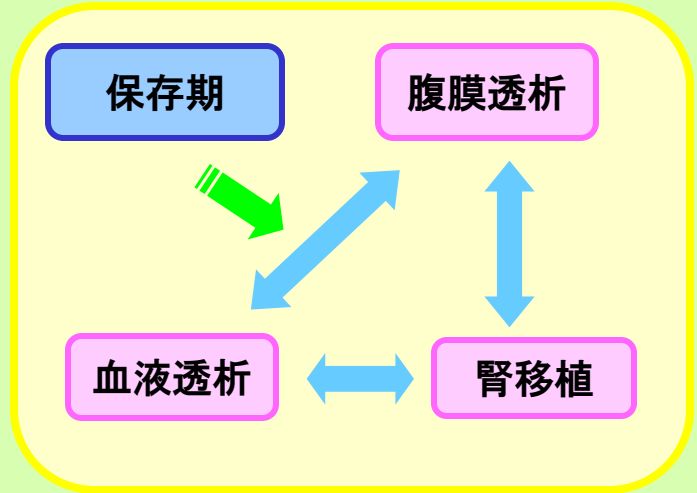


# 腹膜透析

腎不全が進行すると、老廃物や水分が体外へ排泄されず、尿毒症症状が出現します。そのため、腎臓の代わりに行う腎代替療法が必要となります。この、腎代替療法には、“血液透析”と“腹膜透析”と“腎臓移植”があり、当院では全ての腎代替療法の提供を行っています。この中で、腹膜透析は保存期と血液透析や腎移植の中間療法とも位置づけされている治療法です。



腹膜透析とは、お腹に透析液を入れて一定時間貯留（4～6時間）している間に、尿毒素や水分を除去する方法で、ご自宅で自身によって出来る治療法です。

- ・ご自身で自宅で出来るため社会復帰に有利です。
- ・来院回数が少ないため（2～3回/月）、時間の制約が少ないです。
- ・毎日行う治療法ですので高齢者や心臓への負担が少ないです。

“腎不全の治療選択 - あなたはどの治療法をえらびますか？”より一部抜粋

